

日本全国 能楽キャラバン!

梅若研能会 特別公演



番組

神歌 梅若万三郎

狂言 萩大名 善竹 十郎

能 石橋 梅若万佐晴

大獅子

梅若 紀長

梅若 久紀

梅若 泰志



令和4年11月3日(祝・木) 13時開演 (12時15分開場)

於・国立能楽堂

入場料 (全席指定)

正面 6,000円 脇正面 5,000円
中正面

お問い合わせ・お申し込み

e+ (イープラス)

<https://eplus.jp/ath/word/69495>

カンフェティ TEL 0120(240)540 (平日10:00-18:00)

<http://www.confetti-web.com/umeken>

公益財団法人 梅若研能会

〒151-0066 渋谷区西原1-4-2 TEL 03(3466)3041

《メールアドレス》 staff@umewakakennohkai.com

《ホームページ》 <http://www.umewakakennohkai.com>



文化庁 統括団体による
アートキャラバン事業
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)



梅若研能会 特別公演

令和四年十一月三日（祝・木）十三時開演 於・国立能楽堂

神歌

翁 梅若万三郎
千歳 長谷川晴彦

梅若 志長
八田 達弥
青木 一郎
加藤 眞悟
古室 知也

解説

梅若万三郎家について

村上 湛

十三時三十五分頃

狂言

萩大名

大名 善竹 十郎
太郎冠者 善竹大二郎
亭主 野島 伸仁

休憩二十分

石橋

十四時三十分頃

大獅子

親獅子 梅若万佐晴
親獅子 梅若 紀長
子獅子 梅若 久紀
童子 梅若 泰志
子獅子 梅若 泰志
寂照法師 野口 琢弘
仙人 善竹大二郎

笛 栗林 祐輔
小鼓 古賀 裕己
大鼓 大倉正之助
太鼓 徳田 宗久

後見 梅若万三郎

青木 健一
加藤 眞悟

梅若 紀佳 遠田 修
青木 健一 青木 一郎
古室 知也 伊藤 嘉章
長谷川晴彦 八田 達弥

地謡

台持 中村 政裕 梅若 志長
萩原 郁也 梅若千音世

終了予定 十五時四十五分頃

梅若研能会特別公演について

維新後の明治・大正・昭和初期にわたって活躍し、名人と呼ばれた「初世・梅若万三郎」の流れを汲む「梅若万三郎家」。本公演では、現当主・三世梅若万三郎による「神歌」と二世万三郎次男・梅若万佐晴による「石橋」を、梅若家・親子三代、梅若万三郎門弟一同が一つとなり勤めます。

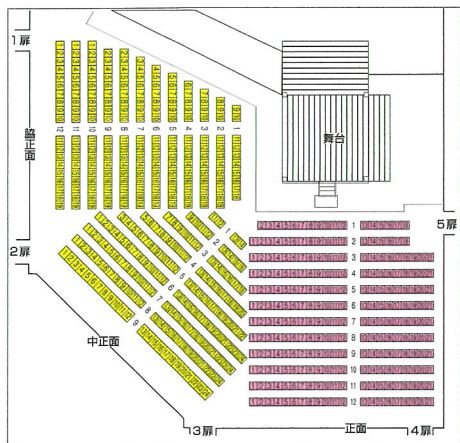
曲目解説

【神歌】「能にして能にあらざ」といわれ、能の神秘性、呪術性を体現する演目「翁」が、素謡で上演されるときに「神歌」という呼称となります。本公演では、三世・梅若万三郎が翁を勤め、天下太平・国土安全の祈念を込めます。

【萩大名】庭の見物をしたい田舎の大名が、心得のない歌を詠まなくてはならぬということで、太郎冠者に対応策を考えさせます。太郎冠者の苦心で対策はしたものの、実際に亭主の前に出ると覚えたはずの歌が出てこない大名に……

【石橋】中国に渡った寂照法師は、名に高い清涼山に赴き、石橋（しゃつきょう）を目前とします。彼岸の浄土に渡るうとする寂照に対し、居あわせた童子は安易に渡ろうとする姿勢を諫めます。石橋の謂われを語り消えていった童子の後に、仙人が姿を見せ、更にその後文殊菩薩の使いである獅子が現れ、奇瑞の舞を見せます。

表紙写真【石橋大獅子】梅若万佐晴（撮影・前島吉裕）



国立能楽堂

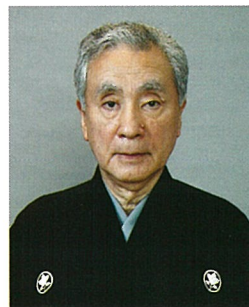
渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1
中央・総武線 千駄ヶ谷駅下車徒歩5分
大江戸線 国立競技場駅 A4 出口徒歩5分
副都心線 北参道駅 出口1 徒歩7分

●入場料（全席指定）

正面 6,000円
脇正面・中正面 5,000円



梅若万佐晴



三世 梅若万三郎